

平成28年第1回森町議会6月第2回会議会議録 (第1日目)

平成28年6月27日(月)

開議 午前10時00分

休会 午前10時25分

場所 森町議会議事堂

○議事日程

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 審議日数の決定
- 3 議長諸般報告
- 4 議案第 1号 平成28年度森町一般会計補正予算(第4号)
- 5 議案第 2号 工事請負契約の締結について

○出席議員(16名)

議長 16番 野村 洋 君	副議長 1番 三浦 浩三 君
2番 菊地 康博 君	3番 加藤 進 君
4番 黒田 勝幸 君	5番 山田 誠 君
6番 檀上 美緒子 君	7番 河野 文彦 君
8番 佐々木 修 君	9番 小杉 久美子 君
10番 久保 友子 君	11番 木村 俊広 君
12番 西村 豊 君	13番 堀合 哲哉 君
14番 松田 兼宗 君	15番 宮本 秀逸 君

○欠席議員(0名)

○出席説明員

町 長	梶 谷 恵 造 君
副 町 長	片 野 滋 君
会計管理者兼 出納室長	佐々木 陽市郎 君
監査委員	池 田 勝 元 君
総務課長	木 村 浩 二 君
砂原支所長	落 合 浩 昭 君
契約管理課長	小井田 徹 君
防災交通課長	小田桐 克 幸 君
保健福祉課長	住 吉 英 勝 君
保健福祉課参事	千 葉 正 一 君

保健対策課長	若 松 幸 弘 君
住民生活課長	島 田 宏 信 君
町民サービス課長 兼町民・年金係長	伊 賀 野 美 子 君
水産課長	黒 川 安 明 君
水産課参事	岩 瀬 英 一 君

○出席事務局職員

事務局 長	藤 田 司 志 君
次 長 兼	村 本 政 君
議 事 係 長	喜 田 和 子 君
庶 務 係 長	

○会議に付した事件

- 1 議案第 1号 平成28年度森町一般会計補正予算（第4号）
- 2 議案第 2号 工事請負契約の締結について

◎開議の宣告

○議長（野村 洋君） ただいまの出席議員数は16名です。定足数に達していますので、議会在立しました。

平成28年第1回森町議会6月第2回会議は、通年議会のため12月31日まで休会中でありませんが、森町議会会議条例第4条第2項の規定により、6月会議を再開いたします。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（野村 洋君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、3番、加藤進君、4番、黒田勝幸君を指名します。

◎日程第2 審議日数の決定

○議長（野村 洋君） 日程第2、審議日数の決定を行います。

次に、審議日数ですが、本日1日間を予定しておりますので、議事運営にご協力をお願い申し上げます。

◎日程第3 諸般の報告

○議長（野村 洋君） 日程第3、諸般の報告を行います。

例月出納検査報告は、別途閲覧に供しておりますので、説明を省略します。

地方自治法第121条の規定により、議長より説明のため会議に出席を求めた者及び本会に出席の議会職員は、お手元に配付のとおりであります。

これで諸般の報告を終わります。

◎日程第4 議案第1号

○議長（野村 洋君） 日程第4、議案第1号 平成28年度森町一般会計補正予算を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

○総務課長（木村浩二君） それでは、議案第1号についてご説明申し上げます。

本案は、平成28年度森町一般会計補正予算の第4回目となるものです。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,374万2,000円を追加し、歳入歳出それぞれ99億3,048万8,000円にしようとするものです。

事項別明細書によりご説明申し上げます。4ページ、5ページをお開きください。歳入ですが、款14国庫支出金、項2国庫補助金、目2民生費国庫補助金、節1社会福祉費補助

金2,818万8,000円は、臨時福祉給付金事業に係る補助金とマイナンバー制度整備に係る補助金をそれぞれ計上しております。

款19繰越金の555万4,000円は、財源調整のため計上するものです。

次に、6ページ、7ページからの歳出ですが、款2総務費、項1総務管理費、目7情報推進費、節13委託料522万5,000円は、マイナンバー制度に係る国との互換性をテスト運用するためのシステム構築費を計上しております。

次に、款3民生費、項1社会福祉費、目9臨時福祉給付金事業費1,880万7,000円は、低所得者の対象者へ1人3,000円の給付金と関連事務費を計上しております。

また、目10生涯・遺族年金生活者支援臨時福祉給付金事業費660万円は、対象者1人3万円の給付金を支給しようとするものです。資料ナンバー1を提出しております。

次に、8ページ、9ページの款4衛生費、項1保健衛生費、目2環境衛生費は、さわら齋場の1号炉を修繕しようとするものです。

次に、款6農林水産業費、項3水産業費、目3水産施設管理費100万円は、尾白内地区の堆肥化施設のホイールローダーの修繕費を計上しております。

次に、款8土木費、項4港湾費、目1港湾管理費200万円は、森港湾岸壁の矢板などの腐食による吸い出し等が見られるため、修繕をしようとするものです。資料ナンバー2を提出しております。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（野村 洋君） これから質疑を行います。

事項別明細書4ページからです。歳入歳出一括で行います。

○15番（宮本秀逸君） 臨時福祉給付金事業についてちょっとお伺いします。

こちらの資料のほうでちょっと感じたことなのですが、3,400人の方に対して3,000円を給付するということで、事務費が860万ということなのですが、3,400人満度にいただくかどうかわかりませんが、それだけで計算しても恐らく1人当たり、これ幾らになるのですか、対象者1人に対して、こういう計算がいいかどうかわかりませんが、2,000円ぐらいかかるような感じになってくるのです。こういう事業なのですけれども、本来の目的とちょっと違和感がないかなというような感じが実は私はしたのですけれども、どういうふうにお考えなのかをちょっとお伺いしたいと思います。

○保健福祉課長（住吉英勝君） お答えいたします。

事務費の関係でよろしいかと思いますが、今回の臨時給付金の支給に当たりまして、申請から給付の期間、同一進行で給付していくこととなりますが、その期間の臨時職員の採用や、あと事務費につきましては電算の委託料が主なものとなっております、給付に係る金額と事務費につきましては別に考えて算定しております。

以上です。

○15番（宮本秀逸君） 事務費の内訳についてはこの明細のほう見ればわかりますけれども、いわば所得のない方、貧しい方に対してこれだけの応援をしましょうというような話

でこれやると思うのですけれども、3,000円給付するのに事務費が2,000円かかるという話ですから、それがいいか、悪いかはまた別問題かもしれませんが、こういう事業のあり方がもう少し何かやり方を変えればまた違った形になるのかなという気がしたものですから、こういう形でやらなければだめなものかどうかともひっくるめて、今までもあったでしょうし、これからも出てくるかもしれませんが、こういう給付のあり方はどういうふうに感じていらっしゃるか、それをちょっとお伺いしたいと思います。

○保健福祉課長（住吉英勝君） お答えいたします。

今回の給付の金額がたまたま簡素な給付措置につきましては3,000円ということなのですけれども、実際の給付に係る作業につきましては本来の金額に関係なく必要な部分ですので、給付の金額にかかわらず事務費として見なければならぬと考えております。

以上です。

○副町長（片野 滋君） 私からちょっと答弁させていただきたいと思います。

ご指摘のとおり、事業費に対して事務費のほうが少し多いのではないかというようなご指摘でございますけれども、今回につきましては臨時給付金の関係とその下にあります生涯・遺族年金等生活者臨時給付金、これら一括した中での事務費というふうにはまずご理解いただきたいと思います。

それと、たまたま給付金額が低いということで、3,000円という低い金額の給付金なものですから事務費というが少し目立ってきますけれども、事務的に考えますと給付金の額にかかわらず事務量というのは全く変わりませんものですから、このような少し見た感じでは高いような事務費となっております。その一つの要因としては、今は事務を進めるに当たりまして全てがパソコンのいわゆるシステム改修、これらが必ずつきまといまいますので、どうしてもそこに高額な金額を予算措置しなければならないという実態もございます。できるだけ賃金等これらの部分で減額できるものがあれば、その中で努力していきたい、このように考えております。

以上でございます。

○11番（木村俊広君） 港湾管理費なのですけれども、資料にも出ております。矢板が腐食して穴があいて、砂が吸い取られているという状況なわけですけれども、今現在バリケードされていて進入禁止という状況になっているのですけれども、この200万の予算でこの矢板の穴を腐食をある程度修理して、それが解消される状況になるものなのか、お願いします。

○水産課参事（岩瀬英一君） 木村議員のご質問におこたえいたします。

説明資料の中の左下のほうに修繕箇所拡大図ということで①、②、③と3カ所の箇所を掲示しておりますけれども、今回の補正させていただく金額で①、②、③を修繕するというふうな考えでございます。

以上でございます。

○11番（木村俊広君） 今バリケードして進入禁止の状況になっているのですけれども、

これが解消されて、例えばトラックである程度の重量物積んだ中で出入りしても陥没するような、そういう状況には至らないという、そういう解釈でよろしいですか。

○水産課参事（岩瀬英一君） ご質問にお答えいたします。

現在バリケードしているのは8カ所ございまして、①、②、③の縦の部分は2カ所でございます。ここにつきましては、今補正後にすぐ修繕を予定しておりますけれども、横の部分のバリケードにつきましては8月末に国の直轄工事で工事発注を予定しております、その中で根本的な対策を今お願いしている最中でございます。

以上でございます。

○11番（木村俊広君） この一番原因になったのは、たしか私の記憶では奥尻沖地震の影響でいろいろな影響が出たというのが一番の根本の部分なのかなと思っているのですけれども、それ以来改修工事はしているのですけれども、根本的な部分ができていなかったということから今ここに至っているのかなと思っているのですけれども、しっかりこの部分に関しては修繕していかないと、今後全く使えない、そういう状況になってしまうこともあり得るので、国のほうとしっかりと打ち合わせしながら進めていただければと思います。その辺のスケジュールのことについて、完了する見込みはあるのかどうなのか、その辺調整済みなのか、その辺もあわせてお聞きできればと思います。

○水産課参事（岩瀬英一君） お答えいたします。

まず、西港の部分の改修改良工事でございますけれども、これは年数がややかかりそうだというふうな感触がございますので、今年1年間で発注した工事の中でまず安全に物揚げ場を使えるような、縦横使えるような手当てをしてほしいということで現在協議しております。

以上でございます。

○議長（野村 洋君） ほかにございますか。いいですか。

（「なし」の声多数あり）

○議長（野村 洋君） 質疑を終わります。

討論を行います。

（「なし」の声多数あり）

○議長（野村 洋君） 討論を終わります。

これから議案第1号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

○議長（野村 洋君） 異議なしと認めます。

日程第4、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議案第2号

○議長（野村 洋君） 日程第5、議案第2号 工事請負契約の締結についてを議題とし

ます。

本案について提案理由の説明を求めます。

○契約管理課長（小井田 徹君） 議案第2号についてご説明いたします。

資料として入札及び契約状況表を提出しておりますので、あわせてご参照ください。

本案は、工事請負契約の締結についてであります。地方自治法第96条第1項第5号及び森町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、次のとおり工事請負契約の締結について議会の議決を求めようとするものであります。

1、契約の目的、デジタル防災行政無線整備工事。

2、契約の方法、一般競争入札。

3、契約の金額、6億5,625万1,200円。

4、契約の相手方、東京都千代田区外神田4丁目14番1号、株式会社日立国際電気代表執行役執行役社長、佐久間嘉一郎。

次に、資料についてご説明いたします。まず、入札参加資格の一覧表のほうでございますが、この最低制限価格の決定の仕方といたしまして、一番上の日本無線から一番下の沖ウィンテックまで15社入札に参加しております。そのうち有効札が沖ウィンテックを除いた14社で、そのうちの平均価格につきましては6億5,340万6,428円となっております。それに対しまして、そのうちの9割ということで5億8,806万5,786円という金額がまず出てきます。それで、次に予定価格の7割、工事の場合は7割です。設計は6割ですが、工事の場合予定価格の7割で、その金額が6億7,063万5,000円となります。それで、最低制限制度が平成21年9月から運用されておまして、工事につきましては3,000万以上のもの、設計につきましては1,000万円以上のものについて最低制限価格制度を運用しております。その中の第6条にございまして、当該入札における有効な全入札を平均した価格に10分の9を乗じて得た額とする。ただし、その額が予定価格の入札比較の10分の7を下回るときは予定価格の入札書比較価格の10分の7をもって最低制限価格の入札比較価格とするということになっておりますので、このたびの入札に関しましては入札書比較価格8億6,805万円の7割で入札書比較価格6億763万5,000円が最低制限価格となりますので、一番上の日本無線と扶桑電通につきましてはそれを下回っておりますので、日立国際電気が6億7,064万円で落札ということになっております。

現在までの最低制限価格の執行につきましてですが、平成21年の執行から今回の入札まで、3,000万以上の工事につきましては19件ございました。そのうち議会の議決に提出いたしましたのは26年、27年、今回と3件を提出しております。それ以外は上下水道課の工事が5,000万以上の工事でしたが、地方公営企業法におきまして第40条で地方公営企業の業務に関する契約の締結並びに財産の取得、管理及び処分について地方自治法第96条第1項5号、今後の法律ですが、から8号までは規定にかかわらず、条例または議会の議決によることを要しないとなっておりますので、上下水道課案件につきましては議決を得ていないということです。

以上でございます。

○議長（野村 洋君） これから質疑を行います。

○15番（宮本秀逸君） 資料のほうでお願いします。

最低制限価格にほぼ100%同じというぐらいの額です。5,400円ぐらいの違いです。うまくこういうこともあるのだなというふうに関心したのですけれども、それはそれとしまして、町内の業者さんが今回何社ぐらい参加されたのですか。といいますのは、これだけの大きな事業になりますとどの企業も当然こういう仕事が欲しいわけでございます。それで、森町に住んでいる者としてしましては町内の業者さんに少しでもという気持ちになってくるわけですけれども、何社ぐらい参加されたのかをちょっとお伺いしたいと思います。

○契約管理課長（小井田 徹君） お答えいたします。

表の中で上から7段目の梶原電気興業・川村電気商会特定JV、この川村電気商会と、それから4段下の橋本・樺電・谷特定JV、この谷さんの2社が町内から参加しております。

○15番（宮本秀逸君） ということは、2社とも今回は外れてしまったという形になったわけですけれども、この先どういう事業体が組まれていくかわかりませんが、地元の業者さんを下請等に当然使っていただくような、そういう働きかけといいますか、そういったことは当然やっていかなければならないことだと思うのですけれども、そこら辺の見通しといいますか、考えといいますか、そこら辺が何かありましたらちょっと伺っておきたいと思えます。

○防災交通課長（小田桐克幸君） お答えいたします。

受注業者に対しまして、地元工事業者はもとより、宿泊施設の利用、その他食料の調達、町内で活用できるものにつきましては活用してほしい旨お願い、要請をしてみたいというふうに考えております。

以上でございます。

○11番（木村俊広君） 今の質問に関連してなのですけれども、町内業者の育成ということもやっぱり十分考えていかなければならないと思えます。それで、参加要件の中に単体企業という部分があるのですけれども、この単体というのをなくして、ジョイントで入札してくれというような形をとればその部分もある程度解消されていくのではないかと思うのですけれども、今後そういったことを進めていくという、そういう考えはないのでしょうか。

○契約管理課長（小井田 徹君） お答えいたします。

今議員おっしゃるように、その案件、案件によりまして単体のみの工事等もありますし、今回のようにいろいろな業者が参加できるような形で特定JVも含めた、そういうような形で、要綱の中でも特定JV、森町建設工事企業体取扱要綱というものを定めておりまして、そういう中でも工事ごとに対応できるようにしておりますので、今後もそういう形で考えていきたいと思えます。

以上です。

○11番（木村俊広君） せっかくの大きな事業ですので、できる限り町内の業者さんにはやっぱり参加していただきたいというのが心情なのですが、誰にやってくれという話当然できないわけですから、それが参加資格要件、これを上手につくることによってその辺がある程度解消されていくということなので、工事ごとにいろんなそういう制度を使いながら上手にやっていただければなと思います。その件についてもう一回。

○契約管理課長（小井田 徹君） そのような方向で検討して考えていきたいと思います。
以上です。

○議長（野村 洋君） よろしいですね。

（「なし」の声多数あり）

○議長（野村 洋君） 質疑を終わります。

討論を行います。

（「なし」の声多数あり）

○議長（野村 洋君） 討論を終わります。

これから議案第2号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

○議長（野村 洋君） 異議なしと認めます。

日程第5、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

◎休会の宣告

○議長（野村 洋君） これをもちまして平成28年第1回森町議会6月第2回会議に付議されました議件の審議は全て終了しました。

よって、平成28年第1回森町議会6月第2回会議を終了いたします。

ご苦労さまでした。

休会 午前10時25分

以上会議の顛末を記載し、その誤りのないことを証するため、
ここに署名する。

平成28年6月27日

森町議会議長

森町議会議員

森町議会議員